

9月の人権教育への取り組み

【人権教育月別目標】

- ・自他を敬愛し、連帯意識を高めよう。

- 新しい学期のスタートを意欲的なものにし、学校行事の多い2学期を、仲間と協力して取り組めるようにさせる。
- 学校生活の具体的な場面の中で、生徒一人一人にふさわしい役割を与える。そこで、クラスや学年に対する所属意識を持ち仲間との連帯意識を高めさせる。

【具体的な場面を通して】

○学級において

<授業>

- ①夏休みの課題を提出させ、期限を守ることの大切さを学ばせる。また、提出できない生徒への支援を行う。提出できない生徒には周りの生徒からの批判がないよう配慮する。
- ②夏休み気分から早く抜け出し、落ち着いた雰囲気の中で学習ができるようにする。

<日常の学校生活>

- ①1学期に身につけた集団生活の約束をもう一度確認し、学校生活での「規律」「けじめある行動」を心がけさせる。また、十分に身につけていない点については継続して指導する。
- ②新しい班や係集団における役割を確認させ連帯意識を高めて、お互いに助け合い協力する意識を高める。

○学年、学校において

- ①三者面談(3年) … 現時点での本人・保護者の進路希望を確認し、生徒の適性や成績から個に応じた助言をする。(学級担任を中心に。)なるべく具体的な努力目標を示し、励ますことで実現への意欲を高める。
- ②高原学校(1年) … 班活動での係や決められた役割を果たすことで、集団への所属意識を持たせる。班員・級友・同じ係の生徒など仲間との連帯意識が持てるようにし、互いに協力することを通して中学校生活の楽しい思い出ができるようにさせる。

○部活動において

- ①大会、文化祭に向けて … 新人戦や友和祭を、自分たちが掲げた目標を実現させる場としてとらえさせる。そのために仲間と協力したりアドバイスし合ったりして、よりよいものを作り上げさせる。
- ②普段の活動 … 運動部では1、2年生に部活動の中心が移行し、新部長を中心とした新しい人間関係の中で活動が始まった時期である。2年生には部活動の中心的な存在となったことを自覚させ、お互いを認め協力してどのように部活動に取り組むかを考えさせる。1年生はフォローアップとしての役割を自覚させ、2年生や同級生と力を合わせてよりよい部活動作りに意欲的に取り組ませる。